

琵琶湖 新発見

D I S C O V E R B I W A K O

生き物たちで賑わうヨシ原(琵琶湖周辺)

湖岸に広がるヨシ原は昔から、琵琶湖の景観にゆたかな彩りをあたえてきました。野鳥や魚、昆虫などさまざまな生き物たちや、低湿地に生える数多くの珍しい植物の生息地としても、その役割は大切です。風になびくヨシ原の中で育まれているたくさんの生命……。人々の暮らしにうるおいをもたらす、さまざまな生命のゆりかごになっているヨシ原も、近年の湖辺の開発や、生活様式の変化のため、だんだん失われてきました。

そこで琵琶湖総合開発事業の一環として、湖岸の自然を取り戻すため、水資源開発公団によりヨシの植栽が行なわれてきました。公団では10年間にわたり、ヨシの人工植栽について研究し、洪水を防ぐ湖岸堤の築造などで失われたヨシ原の復元を主な目的に、昭和59年から平成4年にかけて合計約5haの植栽を実施。復元されたヨシ原では、自然のヨシ原と同じようにいろいろな生き物たちでにぎわっています。

また、滋賀県では平成4年に「滋賀県琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例」を定め、また、地域の人たちや大津市などの自治体を中心になってヨシ焼きやヨシ刈りをおこなって、ヨシ群落の保全につとめています。

これからも多くの人々の理解と努力で、琵琶湖の自然を守ってきたいものです。

ヨシ原に生息する生き物たち

野鳥 / オオヨシキリ、カイツブリ、オオジュリン、アオジなど

魚 / ホンモロコ、ニゴロブナ、トウヨシノボリなど

昆虫 / イチモンジセセリ、ヤマトヒメテントウ、ヨシウンカなど

希少植物 / タコノアシ、オオマルバノホロシ、ヒメナノキ、ハンゲミョウ など



植栽により成長したヨシ原